

平成22年第7回東大和市議会総務委員会記録

平成22年12月16日（木曜日）

出席委員（8名）

委員長	中間 建二 君	副委員長	関田 正民 君
委員	西川 洋一 君	委員	粕谷 久美子 君
委員	森田 憲二 君	委員	小林 知久 君
委員	佐村 明美 君	委員	二宮 由子 君

欠席委員（なし）

委員外議員（2名）

議長	粕谷 洋右 君	15番	長瀬 りつ 君
----	---------	-----	---------

議会事務局職員（4名）

事務局長	石川 和男 君	事務局次長	桜井 輝幸 君
議事係長	下村 和郎 君	主事	新井 利恵 君

出席説明員（4名）

副市長	氏井 博 君	企画財政部長	浅見 敏一 君
総務部長	北田 和雄 君	防災安全課長	西永 宣昭 君

会議に付した案件

- (1) 22第15号陳情 米軍普天間飛行場移設の日米共同発表の見直しを求める沖縄県議会決議を支持し日本政府に意見書提出を求める陳情
- (2) 所管事務調査
市の防災安全対策のうち総務部の所管に関すること

午前 9時53分 開議

○委員長（中間建二君） ただいまから平成22年第7回東大和市議会総務委員会を開会いたします。

○委員長（中間建二君） 22第15号陳情 米軍普天間飛行場移設の日米共同発表の見直しを求める沖縄県議会決議を支持し日本政府に意見書提出を求める陳情、本件を議題に供します。

朗読いたさせます。

○議会議務局次長（桜井輝幸君） 朗読いたします。

22第15号陳情 米軍普天間飛行場移設の日米共同発表の見直しを求める沖縄県議会決議を支持し日本政府に意見書提出を求める陳情

○委員長（中間建二君） 朗読が終わりました。

質疑を行います。

○委員（関田正民君） この際、動議を提出いたします。

本件につきましては、質疑を終了、討論を省略し、趣旨採択として直ちに採決することを望みます。

委員長において、よろしくお取り計らいのほどをお願いいたします。

○委員長（中間建二君） ただいま関田正民委員から、質疑を終了、討論を省略し、趣旨採択として直ちに採決されたいとの動議が提出されました。

お諮りいたします。

本動議のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（中間建二君） 御異議ないものと認め、さよう決し、直ちに採決いたします。

22第15号陳情 米軍普天間飛行場移設の日米共同発表の見直しを求める沖縄県議会決議を支持し日本政府に意見書提出を求める陳情、本件を趣旨採択と決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（中間建二君） 御異議ないものと認め、よって本件を趣旨採択と決します。

お諮りいたします。

ただいま趣旨採択と決しました本陳情につきましては、意見書の提出をしないこととしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（中間建二君） 御異議ないものと認め、さよう決します。

○委員長（中間建二君） 次に、所管事務調査、市の防災安全対策のうち総務部の所管に関すること、本件を議題に供します。

前回報告以降の災害状況等について、報告をお願いいたします。

○防災安全課長（西永宣昭君） 前回、総務委員会で報告以降の9月から11月までの災害対応等について、お手元の資料に基づきまして御説明申し上げます。

火災の対応でございますが、5件ございました。

1件目は、9月14日午前4時17分ごろでございますが、南街1丁目32の9、大和通りにございますローソン

ストアの店舗の前に置いてありますごみ箱の中のごみ袋が燃えたということでございます。恐らく、たばこの吸い殻というようなことを聞いてございます。

2番目といたしましては、10月18日月曜日、これは前回とたまたま時間が同じでございますが、119番入ったのはこの時間になっております。南街4の19の5、これは一軒家でございまして、なべの空炊きということで、ぼや1棟でございます。

3番目でございますが、10月21日午後10時35分ごろ、狭山4丁目1478の7で発生いたしましたものは、外に置いておりました運搬用荷台——よくトラックの上に置いて、それが乗りおりにできるものでしょうか、それを置いてあるところにごみが積んでありまして、そこが何らかの原因で燃えたということでございます。

4番目につきましては、10月28日の午後1時43分ごろ、これは清水6丁目にございます東大和ケアホテルほかで、誤報でございました。消防施設の点検中に非常ベルが鳴動したということでございます。

5番目が、11月10日午前5時51分ごろでございますが、これもやはり誤報でございますが、中央1丁目585の9、調理中のなべの煙を火災警報器が感知したということでございます。

以上、5件のうち、けが人は出てございません。

なお、参考までに、月曜日に議会開会中に発生いたしました火災の報告、ちょっと口頭でつけ加えさせていただきますが、12月13日月曜日16時30分ごろに、立野3丁目580の協和リネンサプライのクリーニングの会社でございますが、そこの作業所内のシーツを巻くロール機がございまして、その機械が故障か何かの原因で火が出たということで、こちら原因は調査中でございます。この件についても、改めて次回御報告申し上げたいと思います。

次に、大雨等の対応ということでございます。大雨の対応といたしましては、全部で3ページまでで4件ございました。

初めに、9月8日の台風9号による水防配備態勢でございますが、この日は一日じゅう雨が降ってございまして、総雨量で37ミリ、時間最大は午前11時40分から約1時間、ここで計測いたしました13ミリでございます。

次の、2ページでございますが、最初に水防配備態勢でございますが、実は先ほどの午前中にかけて雨がございまして、大雨洪水警報が発令されたのが午後2時22分でございますが、既にこの以前から建設環境部と総務部で出て、情報連絡態勢をとって予備の態勢をとっておりましたが、警報が鳴りまして、この後ずっと5時16分まで待機してたという状況でございます。この日の対応条件につきましては、土のうの搬送が1カ所、16袋、これは高木3丁目の空堀川沿いですが、川ということではなくて、私道のところに水がたまったので、要請がありまして、16袋を搬送いたしました。浸水被害、道路冠水はございませんでした。

2番の9月14日の大雨に伴う水防態勢でございますが、この日は総雨量25ミリ、時間最大雨量も25ミリでございますが、ごらんになるとわかりますとおり、午後9時20分から午後10時20分のこの1時間のみ雨が降ったという記録がされてございます。土のう搬送、消毒作業等、被害もございませんでした。

3番の9月23日の大雨でございますが、こども総雨量は37ミリ、時間最大雨量は午後1時10分から1時間の間で13ミリ記録してございます。こちらも特に被害等ございませんでした。

3ページをおめぐりいただきたいと思っております。

4番の10月30日の台風14号に伴う水防態勢でございますが、この日もやはり午前4時20分から午後7時20分まで一日じゅう雨が降っている状況でございました。このうち午後5時30分から最大雨量7ミリを記録してございます。総雨量としては63ミリを記録してございます。この日の被害状況も特にございませんでした。土の

う搬送は、1カ所、10袋を搬送してございます。

次に、3番の自治会防災訓練等の対応でございますが、やはり秋口ということもありましたもので、各自治会等におきましては、次の4ページにかけてでございますが、訓練を9月5日から11月21日にかけて、各地域におきまして、市及び消防署あるいは消防団とともに、それぞれ記載の内容の訓練を行ってございます。

なお、市のほうといたしましては、炊き出し訓練がそれぞれございますが、備蓄庫のほうで賞味期限が到来する以前のアルファ化米などの提供を行ってございます。特に10月2日の南街・桜が丘地域防災協議会、人数的にも多いです。それから4ページも、10月24日の向原団地よつわ自治会、11月13日の東京ユニオンガーデンの管理組合などもかなり大がかりになっておりまして、自主防災組織の活性化というか、自立が図られているというふうに判断しております。

以上でございます。

○委員長（中間建二君） 報告が終わりました。

質疑また御意見等がありましたら御発言をお願いいたします。

○委員（粕谷久美子君） 火災の対応についてですが、時間、①と②の場合が時間的に同じ時刻だったので、詳細なことがなかったために、私は不審火というようなことをちょっと考えてしまったんですね。説明があったので内容はわかりましたが、東大和市の中で、不審火とかそういったものってというのが、ここの①から⑤の間ではないというような状況ですけれども、どのような内容があるか、わかる範囲でいいんですけど、教えていただければと思いました。

○副市長（氏井 博君） 申しわけありません。件数的には把握してないんですが、先日北西消さんとの話の中では、比較的不審火が多いというふうには聞いておりますが、それがどの程度なのかちょっとわかりませんが、話の中ではそういう話は出ておりました。

以上でございます。

○委員（西川洋一君） この火災の対応の、ごみ箱の中にあつたごみ袋が燃えていたというのが2件、もう一つは荷台のごみ等が燃えてます。これは自然発火でこういうふうになっちゃったんでしょうか、どういうことなんでしょうか。

○防災安全課長（西永宣昭君） 1番のローソン前のごみ箱でございますが、私もそこにいましたけども、警察のほうが入っておりまして、やはり先ほどちょっと触れましたけど、たばこの吸い殻の投げ捨てじゃないかという予測は聞いております。はっきりした結果は聞いておりません。

それから同じく3番につきましても、会社さんの外に置いてあつた荷台で、パレットっていうんですかね、そこにやはり廃材とかそういったものがありまして、火が出る場所ではないなということの関係者がおっしゃっていました。そこもちょうど副市長のほうからお話ありましたとおり、具体的なところはちょっと聞いておりません。

以上でございます。

○委員（小林知久君） いただいた情報全般で、水防、火災、それから訓練含めて、消防団の方、それから職員の方、出る回数が非常に多いなというのが実感なんですけれども、特に訓練なんかは、11月まで来るとこのまま歳末のほうに流れたりする、何か常に出る感じになってくるんじゃないかなというふうにこの資料で見たんですけども、そういうのがふえてたりとかっていう——何ていうんですかね、業務量がふえてるみたいな、そういうような感覚とか意見とか、そういったものがあつたりするのでしょうか。

○総務部長（北田和雄君） 火災関係等、これは発生によりますので何とも言えないんですが、あと大雨はことは少し多かっただけかなと印象はあります。火災は自然とは言えませんが、大雨は自然なものですから、これもそういう状態になれば職員は出動するという形になります、消防団も同じですがね。あと自治会の防災訓練ですが、やはりこれは各地域での防災訓練が活発化しておりますので、やはりふえてる傾向にあると思います。ただこれは地域防災をうちのほうでも支援していることですので、傾向としては喜ばしい傾向だという認識はあります。

以上です。

○委員（根谷久美子君） 3ページからの自治会防災訓練等の対応についての部分なんですけど、このそれぞれの参加人数とかかなり多いんですが、26日の向原3・4号棟自治会、炊き出し訓練というような、ここは炊き出し訓練ってだけで表記されていまして、あとのところはいろいろなメニューとか、そういったものというのが書かれているんですけど、やはりこういう訓練する場合のメニューみたいなものってというのは、どこがどのように企画していられるのか、その辺がわかれば教えてください。

○防災安全課長（西永宣昭君） 防災訓練の内容でございますが、やはりこれは主催者側の自治会なり地域の防災組織が、こういうことを経験してみたい、やってみたいということで、主に消防署のほうと相談しながらやっております。特に起震車という部分があったと思うんですけど、これもやはり消防署に事前に要請をして予約をとったりしていますので、もしそれがだめなら違う方法とかいうことで、大まかとしては初期消火ですね、バケツですとか消火器を使った訓練と、火を消す訓練と、やっぱり自分の身を守るということで、避難訓練が主だと思います。あとそれぞれの自治会の組織ですとか、それから経験とかを踏まえまして、さらに大きなメニューを持ちたいということがだんだん大きくなっていくというふうには思っていますので、原則としては主催者側がつくるメニューに沿って、私どもは要請に応じて消防団とか一緒にやってくるところでございます。

以上でございます。

○委員（関田正民君） これ炊き出し訓練のときには、行政のほうで、今さっき言ったああいう協力してもらえるんですか。

○防災安全課長（西永宣昭君） 炊き出し訓練につきましては、私ども防災安全課の職員が立ち会って、地域の皆さんと一緒に、アルファ化米と、それからおこわを使ってですね、時間をはかたり、それから配食したり、一緒に手伝いをさせていただいております。

以上でございます。

○委員（西川洋一君） 火災の件で、ごみ箱にもしかしたらたばこの投げ捨てがあったんじゃないかというような話で、気になって今市報を見たら、家の周りに燃えやすいものを置かないようにという注意はあるんで、これは非常によかったかなと思うんですけど、もう少しほかの方法でも市民にアピールするようなことも、これから年末、やっていったほうがいいかなというふうには思うんですけど、いつでしたっけ、たしか奈良橋のところの火事も、何か本人の不注意による火事でしたっけ、家の外で大きく燃え上がったのがありましたけど、あれもたばこでしたかね。何かそんな感じもあるので、確かに燃えやすいものを置かないでって、そのとおりなんですけど、もう少し市民にぐっとこうくるような、どういう方法があるんだかわかりませんが、その辺は消防のほうの専門家がいろいろ考えておられるかもしれないんですけど、もう少し何か強調した宣伝をしていったほうがいいかなというふうには思うんですけど。

○副市長（氏井 博君） 大事に至る前にいろいろ予防を図る、そういう手段は講じてく必要があると思っています。

幾つかの例として、一つは、まあちょっとあれかもしれませんが、不燃物を回収するときにはですか、ボンベをそのまま出されるようなことで、じんかい車が、よく煙が出ちゃうってということが何回かありましたので、それは各戸別にポスティングをしまして、こういうふうにご注意してくださいということで投げかけました。特に集合住宅が多いというふうな話もありましたので、集合住宅のところを印刷をしまして戸別配布をしたという例がございます。それから、26日から歳末の警戒に入りますので、そういう機会を通じながらPRに努めていきたいというふうには考えてございます。

○委員長（中間建二君） それでは、おおむね本日の報告につきましては、質疑、御意見等を承りました。

そこで、今回の所管事務調査、市の防災安全対策のうち総務部の所管に関するということと、さまざま市の災害対応また災害等について約1年半調査をしまいいりましたけれども、次の3月の定例会が今任期中最後ということもございますので、この1年半の調査を踏まえて総括的にですね、質疑また調査を進めてきた中での総括的な御意見等がございましたら、御発言をいただきたいと思っておりますけれども、委員長として皆さんの御意見、御発言もいただく前提で、ちょっと一つ、二つ、担当のほうに説明を改めてお願いしたいことがございますのでお願いいたします。

一つは、平成20年の大きな水害、都市型災害といえますかゲリラ豪雨ということで、東大和市の中では、河川のはんらんということはおかつてありましたけれども、いわゆる集中豪雨、ゲリラ豪雨による災害というのは非常にまれな災害であったかと思っております。平成20年の災害以来、特に水害のゲリラ豪雨発生等についての対応は、格段に市のほうもさまざまな御努力をいただいて対応していただいていたかと思っておりますけれども、このあたりのことを改めて、平成20年のゲリラ豪雨以来、水害の大雨による対応を市のほうとして、特にこの所管の防災安全課として、どういう対策、また今対応を講じてこられたのかということをお改めてまず1点、御説明をお願いしたいと思います。

○防災安全課長（西永宣昭君） 平成20年8月の大雨以来でございますが、特に大和通りのところにつきまして、集中的な豪雨にあわせて私ども気にかけておりましたのは、やはり車通過による2次災害ということで、雨水の波をどうするかということでありましたけど、その後、大和通りの商店街を一軒一軒回りまして、建設環境部のほうと一緒に土のうを置いてきたところでございます。一般質問の中でもどなたか御質問あったと思っておりますけど、それまではそれほどの備えはなかったわけですが、置くことによりまして、そういう御自分で守っていくと、事前に守っていくという備えができてきたということで、それまでは土のうの搬送要請がかなり雨とともに一緒にあったわけですが、その後は少し少なくなっております。ということは、やはり備えが早目にできているなというふうに感じてございます。それから、私ども防災安全課といたしましては水防本部を立ち上げるわけでございますが、今までは気象庁による警報が鳴った後に参集をしたりして、それまでは当然仕事の延長といたしまして、市内の河川の点検ですとか道路の点検等やっておりますが、態勢をちゃんと事前に注意報の段階で組むということに心がけて、まあ功を奏してきたかなというふうにご考えてございます。

以上でございます。

○副市長（氏井 博君） 今担当課長のほうから、なるべく早い態勢づくりという報告はさしていただきましたが、建設環境部のほうもですね、両方で協力いたしましてグレーチングの清掃あるいは集水ますの清掃とか、あと管の清掃もやっておりますし、パトロールも今話がありましたように、少し早目に市内をパトロールしま

して、予防できるところは予防しようっていうことで、早目の動きを今心がけてるところでございます。

以上です。

○委員長（中間建二君） あともう一点私のほうからお願いしたいんですけども、今回1年半調査する中で、この消防団の災害での出動件数が相当数あるということが、改めて認識をしたわけですが、現実的には消防団への団員への報償というんですかね、これは月額で決まっているかと思えますけれども、出動件数とか、それから歳末のパトロールとか、そういったものへの何らかの報償なりっていうことは現実的にあるのかどうか、この件についてちょっと確認させていただきたいと思います。

○防災安全課長（西永宣昭君） 消防団員に対する報酬関係でございますが、年額報酬がございますが、そのほかに出動する1回ごとに2,500円を支払うことになっております。これは火災のときに限らず、日々の訓練におきましても、これは回数制限ございますが、1回当たり2,500円という支払いをしてございます。

以上でございます。

○委員長（中間建二君） ありがとうございます。

引き続き、皆さんのほうから質疑、御意見等がありましたら、御発言をお願いしたいと思います。

○委員（森田憲二君） 委員長のほうで、3月に向けてまとめということで大変御苦労さまでございます。

それで、備考として1点入れていただきたいのは、直接委員会とは関係ないと思うんですけど、ことしの9月、議員というのかな、議会としてというのかな、救急救命講習を受けたわけですから、その辺もちょっと入れておいて——余分な話かもわかりませんが、差しさわりのない範囲で報告書の中に入れて、備考欄で結構ですけど、入れていただければと提案をさせていただきます。

○委員長（中間建二君） はい、承りました。

○委員（佐村明美君） 感想というんでしょうか、総括的に感想を述べたいと思うんですけども、この当総務委員会として、ずっとこの間、幅広い総務委員会の中で、一番住民に密着している安全、安心の視点でさまざまな調査もさせていただきました。特に今こうやって思い返してみますと、都の災害防災センターで、ヘリコプターによるヘリサインの視察もさせていただいて、設置ということで成果も出てきたかなと思いますし、それからまたこういう報告を伺いながら、委員会として共通の認識として、これまで防犯の情報メールを発信していたのが、情報へのメール発信もされて、どこにいてもそれが察知できるっていうんでしょうか、そういう注意情報が出た場合ですね、そういう意味ではとっても成果のあった私どもの委員会での調査であったなと思います。

それから、火災、大雨等の報告をこういう形で逐次いただいております。この災害対応についても、前回は森田委員からも御指摘あったかと思うんですが、やはりこういう形の紙ベースでですね、これは委員会だけではなく議員共通の認識として、ぜひ今後皆さんに共通の情報として提供していただきたいと思います。これも要望でございます。

こういう形で、いろんな今おっしゃった——私も救急救命の講習を今ちょっと申そうと思ったら、森田委員もおっしゃってくださったんですが、かなりこの間、特定調査事項っていうんでしょうか、所管事務調査っていうのはとっても大事だなということを実感をしています。総務委員会もこういう形で他の委員会に先んじてやっていただきましたけれども、ぜひ今後また実のある委員会として、今議会としてもいろんなことを問われますので、委員会としての調査事項、所管事務調査をさらに充実していければいいかな——まあ議長もいらっしやいますのでね、その辺は、感想と意見ということで、要望で述べさせていただきました。

以上です。

○委員（二宮由子君） 私も感想になるんですけども、所管事務調査を当総務委員会で行って、それに沿った委員会の視察なども行えたのも非常に良かったなと思います。それによって、佐村委員もおっしゃっていたように、いろいろさまざまな成果も委員会として上げられたのではないかというふうに思っております。

以上です。

○委員（小林知久君） 一つは総括的に意見なんですけれども、先ほどの水防と防災訓練等で、私自身は、担当課とそれから消防団の負担がふえているというふうに思っています。特に消防団、まあ同年代が多いので聞いてく中で、自分の本業が忙しい時代に、なかなか悲鳴を上げているところもあるやに聞いています。そこによく意見を聞いていただいて、市のほうで必要な支援——これはお金なのか、それともどちらかというともう少し手続なのか、これ具体的ではないんですけども、よく話をして、消防団が疲弊し切らない形を模索してもらえればというふうに思います。当然これは副市長のほうへのお願いですけど、担当課も疲弊し切らないように、大分範囲は広いようですので。

あと私の場合新堀に住んでいましたので、あのかきの火事というのが、何年か前の正月の火事が、やはり一番ショッキングなところがあったんですけども、都市計画ですとか、それからコミュニティーづくりで、防災はトータルでやはりやっていかなくてはいけないとありますので、防災安全課はここ数年できてもらったことは非常にありがたいことなんですけど、庁内での他部との連携なども、制度として、課長の個人の才覚に依存せずに、どういう連携ができていくのかというところを全体として模索してもらえればと思っております。

それから最後に、私もこの所管事務調査というのはなかなかいいものだと思います。本当に議会の場合は、事件が起きた瞬間に委員会やらなくてはいけないところがありますけども、平常時からこういうふうに自由に討議ができるというようなのは非常に有意義だったかと思っております。成果も出ているんじゃないかと思っております。委員長の御苦勞に敬意を表します。

以上です。

○委員（西川洋一君） 防災安全対策のうち総務部の所管ということで、改めてこういう視点で所管事務調査してみて、担当部の地道な活動がいざっていうときに生きてるっていうような感じは受けましたね。ただふだん地道で目立たないけど、いざ事が起こると華々しいんですけども、日常の訓練も、消防団の話聞くと一生懸命やられてるっていうことで、本当にこの辺、やっぱりみんなで気を使わなきゃいけないとこかなというふうには感じました。

それから、こうした調査を進める中で、やはり起こってから対策じゃなくって、大雨なんかの場合はインフラっていうんですか、そういう基本のところからやっぱり改善しなきゃならない面も多々あるんで、先ほど他の部署と連携して対策も早目にとろうとしていますっていうような答弁もありましたけど、その大切さもまた一段と感じたというところでした。

○委員（粕谷久美子君） 私も議員という立場で、できるだけ多くのことが東大和市の中で起きていることを知っていかなければいけない、知り得なければいけないというふうに思っていますが、なかなか細かいことまで、特に防災のこととかわからない面がたくさんありましたが、今回こういう所管事務調査を行うことによって、より一層きめ細かなところまで知り得たかなというふうに思いました。

あと消防団の団長なども来ていただきまして、内容を伝えていただいたことによって、その御苦勞とかそういういったものもしっかり伝わったっていうことで、本当に有意義なものであったなというふうに私も感想として

述べさせていただきます。

○委員長（中間建二君） さまざま御意見をいただきましてありがとうございます。

では皆様の御意見を踏まえて、3月の定例会に向けまして何らかの報告を取りまとめたいと思っております。
また案ができましたら皆様に御提示させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

それでは、お諮りいたします。

本日の所管事務調査はこの程度にとどめたいと思っておりますけれども、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（中間建二君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

○委員長（中間建二君） これをもって平成22年第7回東大和市議会総務委員会を散会いたします。

午前10時32分 散会